

科目名		建築材料			
担当教員		富山 翔		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築物を構成する様々な材料の種類と性質に関する基礎知識を学ぶ科目で、前期は一般的に建築に使用される材料の種類や木材・コンクリート材料の性質の習得を目的として、座学や事例を通して学ぶ。			
学習目標 (到達目標)		建築物を構成する様々な材料の種類と性質に関する基礎知識を理解する。前期は一般的に建築に使用される材料の種類や木材・コンクリート材料の性質に関する知識を習得し、2級建築士学科試験における科目範囲の合格点に達する力をつける。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築材料 (学芸出版社) ②配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	建築材料の概要 ①建築材料の歴史・規格・環境 ②建築材料の分類・性能			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
2	木材-I ①日本建築における木材の種類・特徴 ②木材の強度・構造			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
3	木材-II ①木材と水分 ②木取り、規格、等級			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
4	木材-III ①エンジニアリングウッド			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
5	コンクリート-I ①コンクリートとは ②セメント・骨材・水の性質			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
6	コンクリート-II ①混和材料 ②コンクリートの性質			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
7	コンクリート-III ①コンクリートの調合設計・種類 ②コンクリートの製品			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
8	鋼材-I ①鋼材とは、製鋼の工程 ②鋼材の特徴・種類			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
9	鋼材-II ①鋼材の性質			方法：教科書、資料を使って、説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末テスト	評価テスト	取組姿勢		建築士試験を受験するにあたって、建築材料についての知識は必須。1年次前期では日本の建築で多用される木材・コンクリートの知識を学習しますので、重要科目と捉えて、授業やテストで確認しながら合格基準への到達を目指す。	
50 %	30 %	20 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築事務所において建築材料を取り扱う実務経験3年			